

編集後記

ここに書かれてあるのは、
広大なアマゾン低地の北のは
しのほんの片すみに住んでい
るヤノマム族と呼ばれている
部族と、その生活と、彼らを
とりまく自然と、部落に駐在
する宣教師の中へ、彼らを保
護している役人とともに3人
の若い日本人が入ったときに
見聞きしたことと、そこまで
至る「アプローチ」のことで
す。



我われがこの計画をはじめ
たころ——もう5年もまえの
ことではないか——アマゾン
と名のつく書物を手あたり次
第に読んだ。それらに書かれ
てあるのは「緑の魔境」であ
り、「未開」であり「危険」
であったし、当時の我われに
はアマゾンというのはそうで
なければならなかった。しか
しその後、さまざまな人びと

に会って、それらの本に書か
れてあるのは3分の1がウソ
で3分の1がわい曲されたも
のであることを知る。



アマゾンは緑の魔境でもな
んでもなかったのだ。



少なくとも我われは本当の
見てきたことだけを、確かな
ことだけを書こう。——決意
した。しかし、印刷されてし
まって1冊の本となっていま
いたい、この決意にそったも
のかどうかは「疑問」である。

しかし、同時に我われには、
これを我われの手元から手離
す義務がある。「ピラニアは
かまなかったよ」——という
具合に。



73年春の帰国以来、原稿
をまとめるのに1年、編集に
半年、そしていま最後のペー
ジをつくっている。編集を予

想外に手まどった。あるいは、
この「編集後記」を書くのを
ひきのばしていたのかもしれ
ない。

しかしこれで終わるわけ
はない。



おそらく、「アマゾナス踏
査」は2次、3次と続けられ
るであろうし、現時点でその
具体的な動きもある。また調
査報告の中のあいまいな部分
や、わからない問題を解決し
なければならないということ
もあるだろう。



でも、とにかくヤノマムた
ちはとってもいい人々なのだ。
どうもありがとう。
またきっと会おう。



おわりに、最後まで無理な
注文につきあって下さった石
川印刷さまに厚く感謝します。

(津田)

1974年7月10日発行

ヤノマムたち

—— 関西大学アマゾナス踏査隊報告書

著者・編集 関西大学アマゾナス踏査隊

発行 関西大学探検部
大阪府吹田市千里山

印刷 株式会社石川印刷
守口市大枝西町54

TEL 06(992)4943